

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページ <http://www.dnlighting.co.jp> をご確認ください。

安全上の注意

警告

- 点灯中のランプは絶対に直接または間接に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。
- 紫外線(殺菌線)を皮膚に直接または間接にあてないでください。皮膚の炎症や日焼けをおこす原因となります。
- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- ランプ交換、ファン交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。

注意

- 適合ランプ以外は使用しないでください。ランプ落下によるケガ、短寿命、不点灯、火災の原因となる場合があります。
- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障、火災の原因となる場合があります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となる場合があります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となる場合があります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となる場合があります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となる場合があります。
- 暖房機器、火気の上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となる場合があります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となる場合があります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となる場合があります。
- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となる場合があります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、ランプが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となる場合があります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- ランプの取り付け、取り外しは取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。ランプの落下、火災の原因となる場合があります。
- ファンの交換は取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。故障、火災の原因となる場合があります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障の原因となる場合があります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 性能を維持するために定期的に器具やランプの清掃や点検をしてください。
- 指定のファンを必ず使用してください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはランプにチラツキを生じたり、器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。

保守・点検

- 殺菌灯器具および関連部品(安定器・ソケット含む)には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

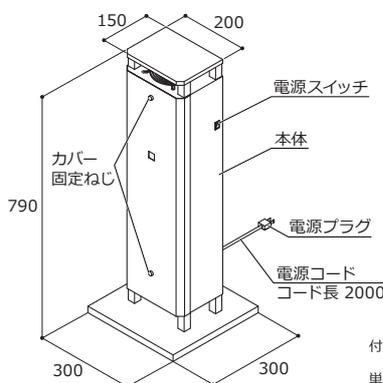
定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	適合ランプ	本体質量(kg)	入力電圧(V)	入力電流(A)	入力電力(W)
GC-152S	GL-15×2	7.5	100	0.66	39.5

・周波数50/60Hz共用

各部の名称と外形寸法



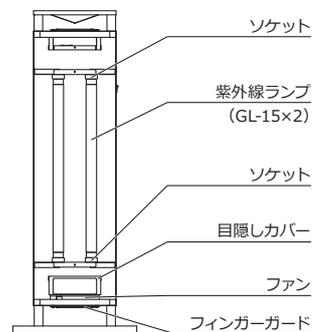
付属品:紫外線ランプ
GL-15 2本
単位:mm

カバー外側



本体内側

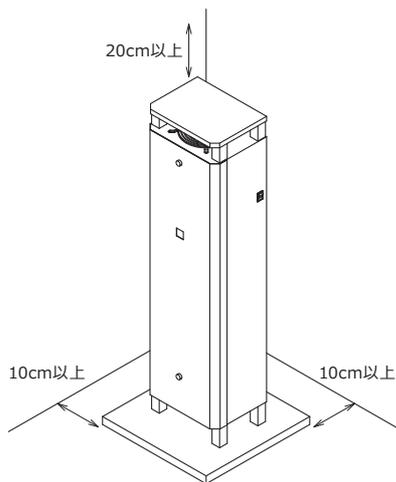
(カバー取り外し時)



ご使用方法

1. 設置前の確認

周囲の壁などから離して設置できるスペースを確保してください。

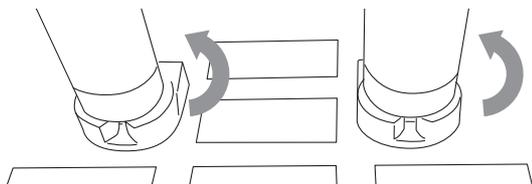


2. 器具の設置

平らな床面に設置してください。

3. 紫外線ランプの装着

- ・本体のカバー固定ねじ(2個)を緩めてカバーを取り外してください。
- ・付属の紫外線ランプをソケットに差し込み90°回転させカチッと音がするのを確認してください。

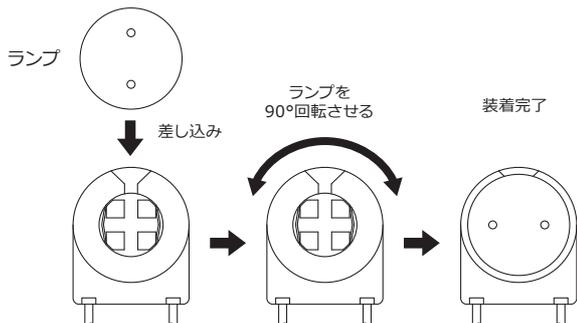


- ・カバーを本体の元の位置に戻し、カバー固定ねじ(2個)で確実に締め付けてください。

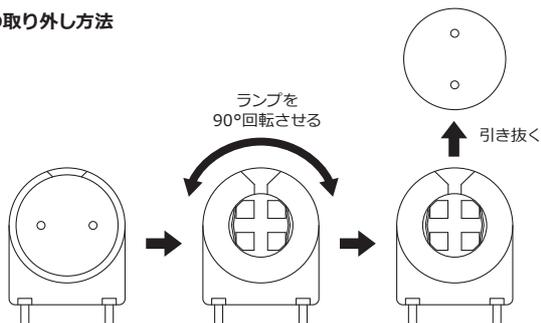
《ランプの取り付け、取り外し》

- ・ランプを取り外す場合はランプを90°回転させ、ソケットからまっすぐに引き抜いてください。

ランプの取付方法



ランプの取り外し方法



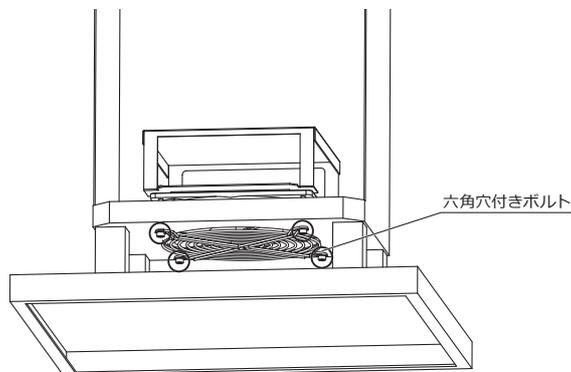
4. 電源の供給

- ・電源プラグをコンセントへ差し込み、電源スイッチを入れてください。
- ・点灯確認窓からランプ2本が点灯していることを確認してください。

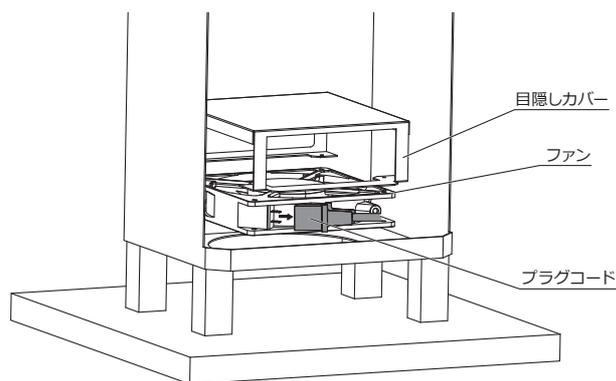
ファン交換方法

指定ファン:109S081

1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 本体のカバー固定ねじ(2個)を緩めてカバーを取り外してください。
3. 本体底部の六角穴付きボルト(4本)を六角レンチ(2.5mm、別途必要)で取り外してください。

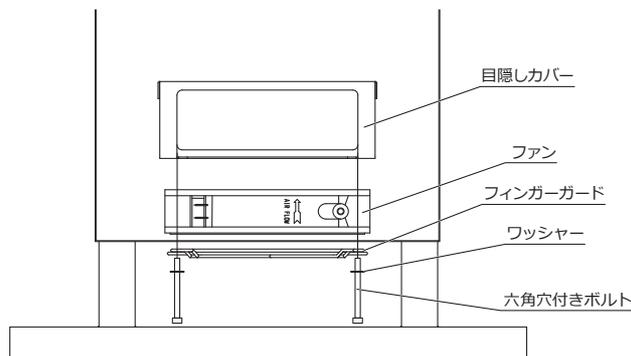


4. 目隠しカバー、ファンを本体の外側へ移動し、ファンからプラグコードを外してください。



5. プラグコードを交換用ファンに取り付けてください。
6. 六角穴付きボルト(4本)とワッシャーでフィンガーガード、ファン、目隠しカバーを本体へ固定してください。
 - ・ファンは下図のようにAIR FLOW表示の矢印が上向きとなるよう取り付けてください。

注意】目隠しカバーにはねじ切りがされているため、ナットはありません。



7. カバーを本体の元の位置に戻しカバー固定ねじ(2個)で確実に締め付けてください。